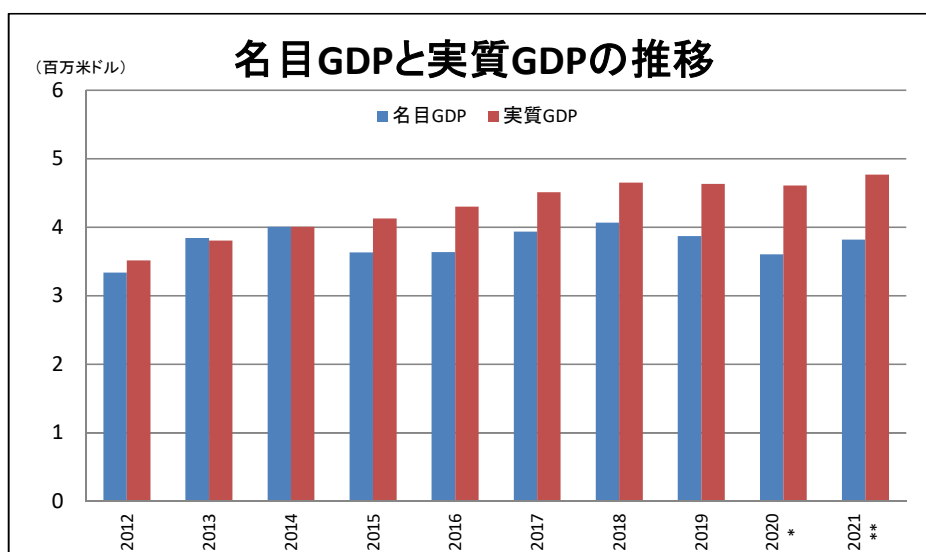


パラグアイ主要経済指標(2021年3月)

※ I ~ V および VII は全てパラグアイ中央銀行発表データ

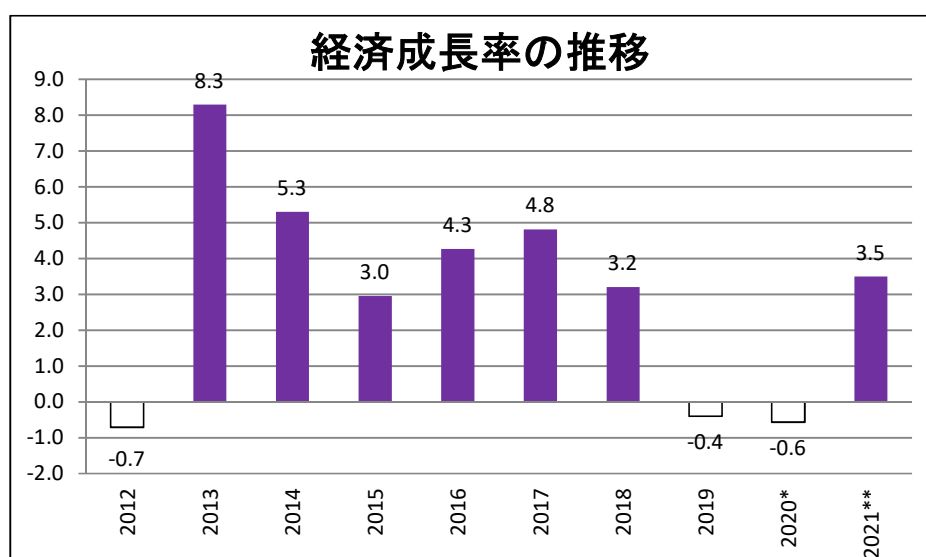
I 名目GDP・実質GDP・経済成長率 ※前月より変更なし

●3月時点で2021年度の名目GDPは38,198百万米ドル、
実質GDPは47,711百万米ドルと推定されている



※2020年は暫定値、2021年は推定値

●3月時点で2021年の経済成長率は3.5%と推定されている。



※2020年は暫定値、2021年は推定値

II 貿易

<2021年3月貿易データ概要>

(1)輸出

3月の輸出総額は1,197,025千米ドルであり、**1～3月の総額は2,295,150千米ドル**となった。

* 前年度比19.0%増

(大豆種子10.4%増、大豆油8.7%増、大豆粉36.2%増、穀物84.6%増、肉類26.4%増、電力2.2%減、自動車部品(ハーネス)6.1%増、その他30.9%増)

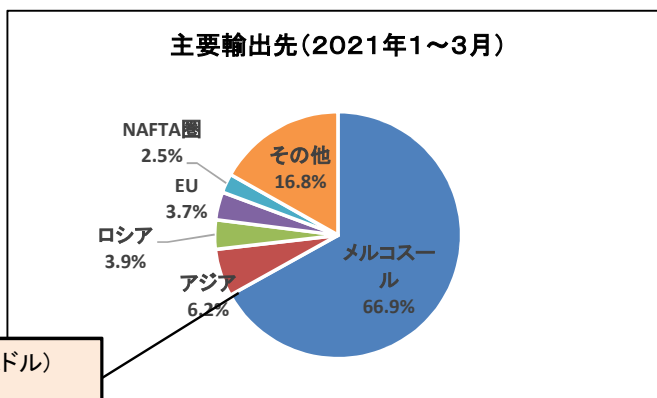
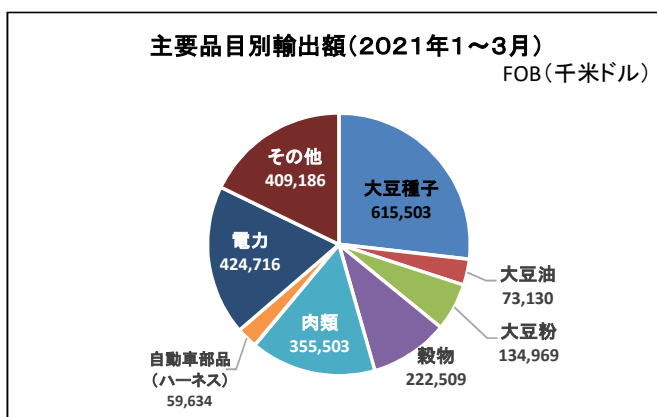
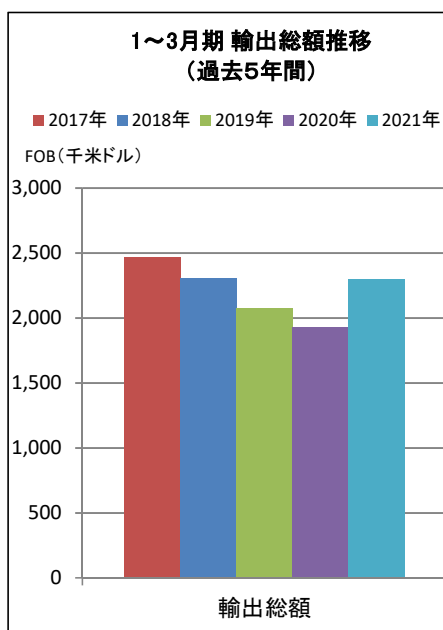
(2)輸入

3月の輸入総額は959,633千米ドルであり、**1～3月の総額は2,571,491千米ドル**となった。

* 前年度比1.6%減

(食料品3.3%増、酒類・タバコ2.0%減、紙・布類・薬・衛生用品等4.7%減、燃料11.9%減、自動車・電子機器等15.9%減、化学物質・薬品11.1%増、機械類・部品1.3%減、その他4.2%増)

(1)輸出



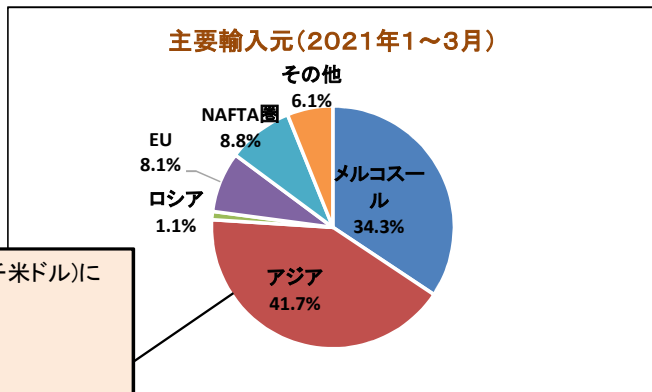
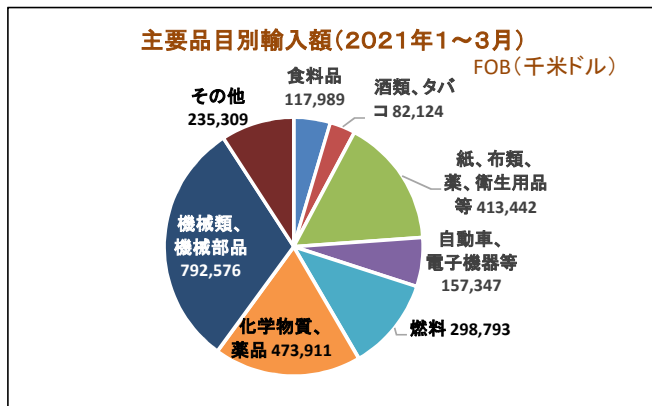
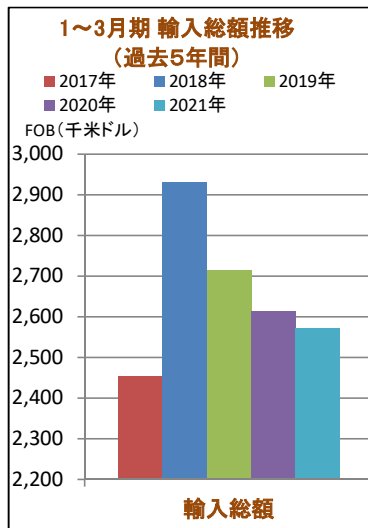
【アジア向け輸出(総額143,293千米ドル)に占める割合】

台湾: 24,759(千米ドル)【17.3%】

日本: 1,656(千米ドル)【1.2%】

中国: 4,201(千米ドル)【2.9%】

(2) 輸入



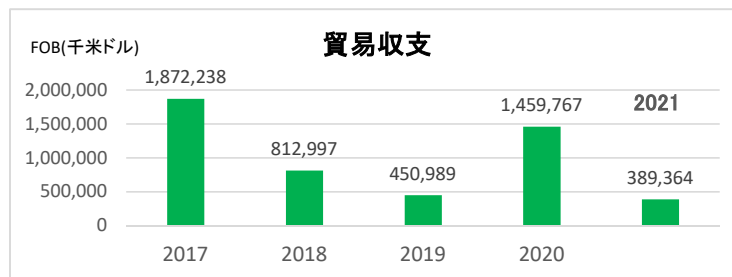
【アジアからの輸入(総額1,071,129千米ドル)に占める割合】

台湾: 15,109(千米ドル)【1.4%】

日本: 51,381(千米ドル)【4.8%】

中国: 765,826(千米ドル)【71.5%】

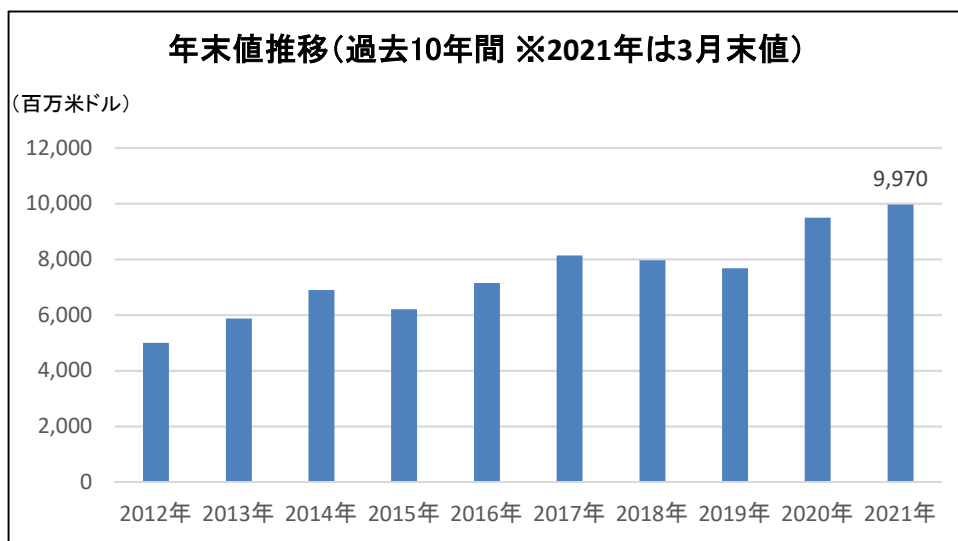
(3) 貿易収支(過去5年間、再輸出等を含めた総額ベース)



※2021年は1～3月データ

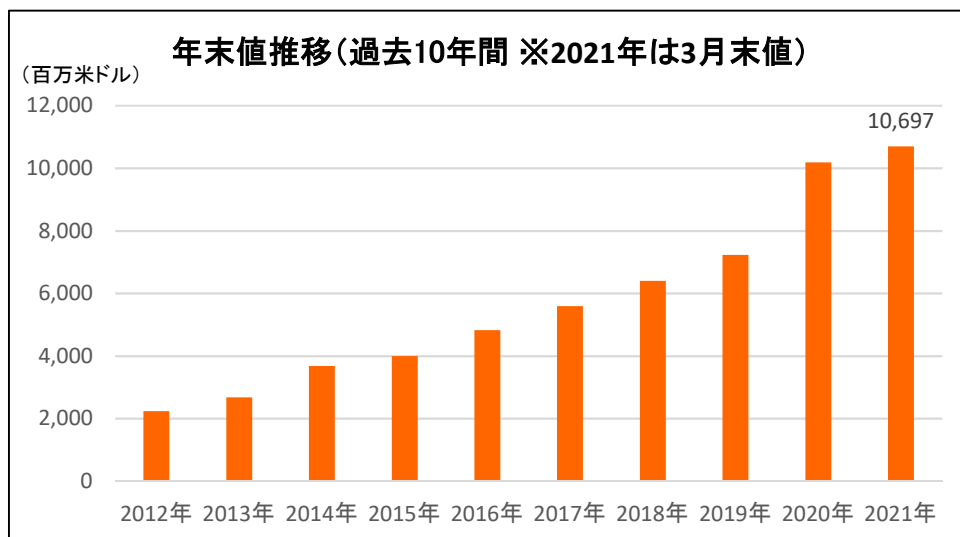
Ⅲ 外貨準備高

2021年3月末の外貨準備高は、約9,970百万米ドルであった。



Ⅳ 対外累積債務

2021年3月末の対外累積債務は、約10,697百万米ドルであった。



V 消費者物価指数

<消費者物価指数概要> *小数点第二位切上げ

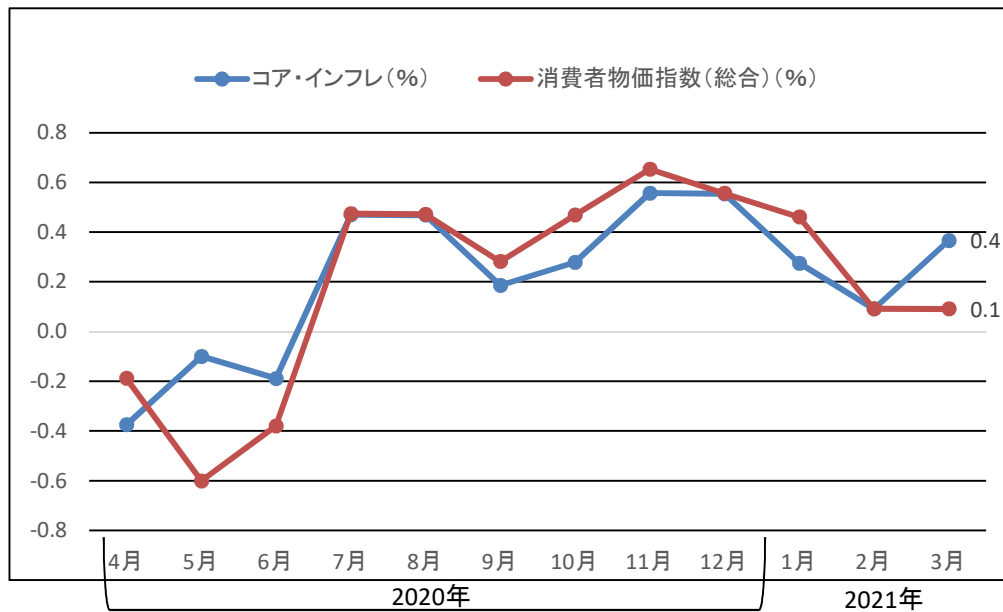
(1)コア・インフレ

3月のコア・インフレ率は0.4%であった。

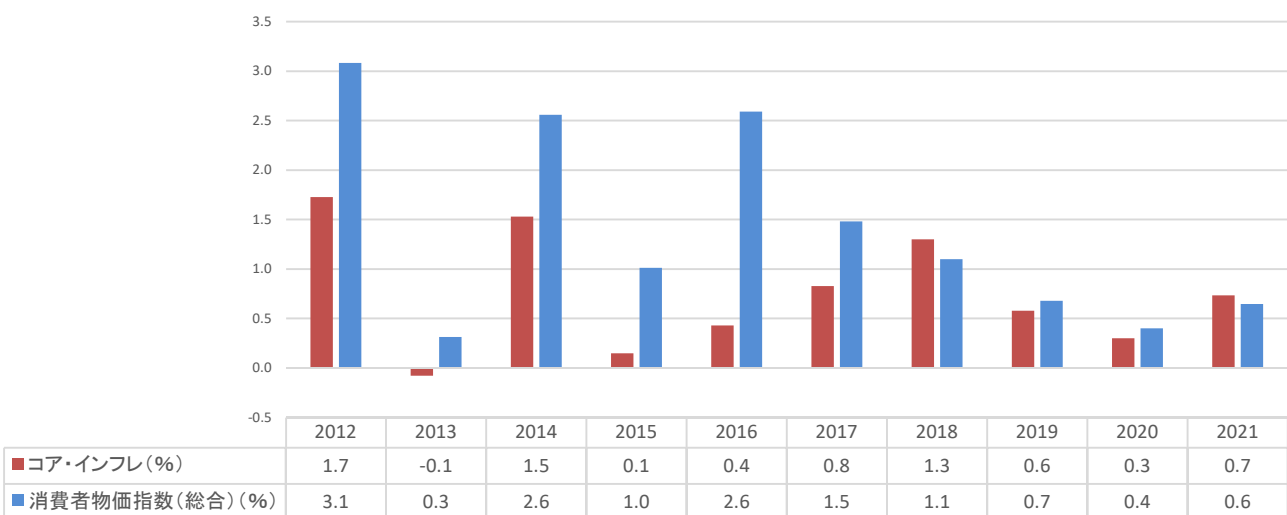
(2)消費者物価指数上昇率(総合)

3月の消費者物価指数上昇率(総合)は0.1%であった。

<過去12か月推移>



【参考】2012～2021年 年間累積値(3月時点)比較



VI 雇用統計(パラグアイ統計局発表)

2021年第1四半期の失業率(全国)は8.1%(306,228人)であり、前期より0.9ポイント上昇した。

前期と比べ、女性失業者は211人減少したが、男性失業者が39,537人増加した。農村の失業者数が急増(前期+2.6ポイント)した。

<失業率(%)推移>

期間	全国	男/女(全国)	都市/農村
2020年 第2四半期	7.6	6.7/8.8	9.1/4.9
" 第3四半期	8.2	5.8/11.5	10.1/4.7
" 第4四半期	7.2	4.9/10.2	8.8/4.2
2021年 第1四半期	8.1	6.7/10.2	8.9/6.8

※BoquerónとAlto Paraguay除く

*小数点第二位切り捨て

<最低賃金>

2021年3月現在: 2,192,839グアラニー

参考: 最低賃金の改定歴(2010年~, グアラニー)

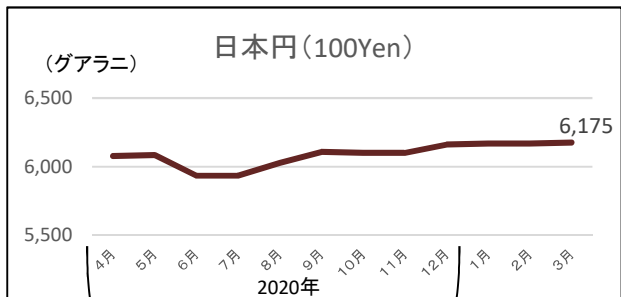
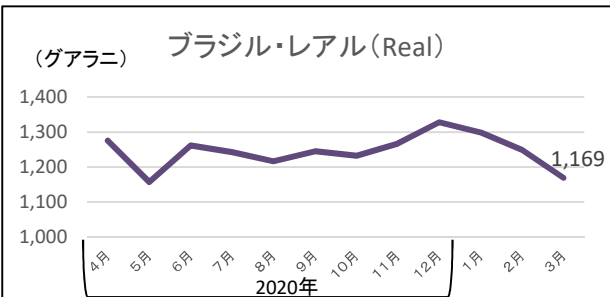
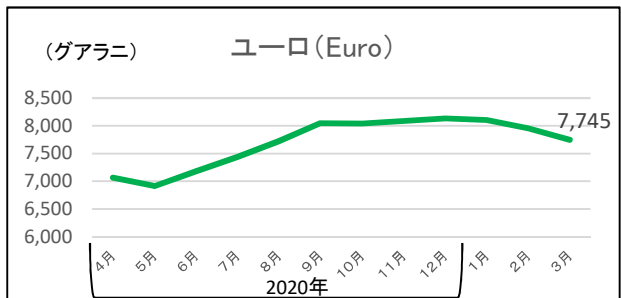
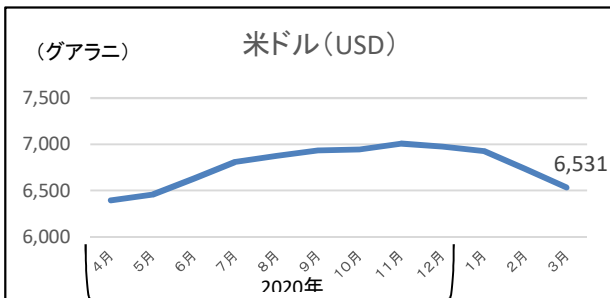
改定日	最低賃金	一日あたりの賃金	前回からの増加率
2010年7月	1,507,484	57,980	7%
2011年4月	1,658,232	63,778	10%
2014年3月	1,824,055	70,156	10%
2016年12月	1,964,507	75,558	7.7%
2017年7月	2,041,123	78,505	3.9%
2018年7月	2,112,562	81,252	3.5%
2019年7月	2,192,839	84,340	3.8%

VII 為替相場

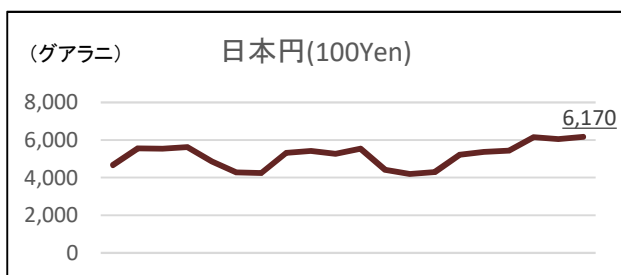
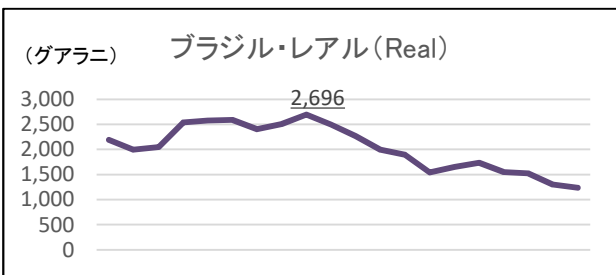
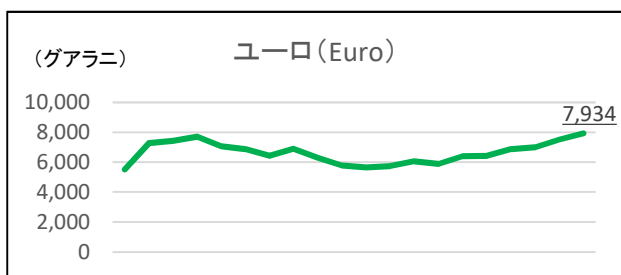
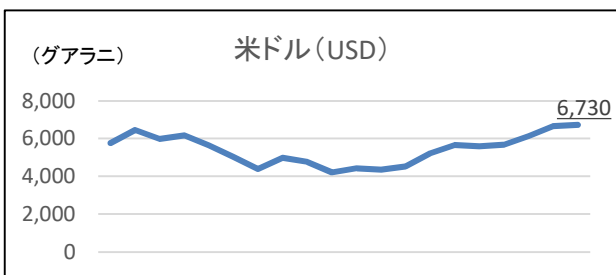
<為替レート概要(月平均値、売値)>

- (1) 対ドル(Gs/US\$)
3月の対ドル為替レート(Gs/US\$)は6,531 Gsとなった。
- (2) 対ユーロ(Gs/EURO)
3月の対ユーロ為替レート(Gs/EURO)は7,745 Gsとなった。
- (3) 対リアル(Gs/REAL)
3月の対リアル為替レート(Gs/REAL)は1,169 Gsとなった。
- (4) 対日本円(Gs/円)
3月の対日本円為替レート(Gs/円)は6,175 Gsとなった。

<過去12か月推移>



【参考】各主要通貨対グアラニー為替相場: **年平均値推移(2002~2021)** (下線部は最安値)



VIII 3月の経済トピックス

1 政府への抗議デモ頻発による国際価格への影響

財務省経済局のデータによると、2050年に償還期限を迎えるソブリン債の関心度は市民によるデモが始まった3月5日から8日の間に約1.6%と大幅に下落し、価格は113.5ドルから111.4ドルまで下がり、その後は111ドル台で安定している。2050年債の価格は2月には約125ドルだった。債券価格の下落は、利回りの上昇につながり、これは伝統的に債券のリスクを反映している。利回りは前月までは4%未満だったものの、5日から8日で4.5%から4.7%に変動した。この状況について、フェレイラ元財務大臣によると、パラグアイの国債は数日前にEMBI（注：JPモルガンによる新興国の債券利回り指数）の動きに変化が生じ、国内情勢を観察する必要があった。同元大臣は、多くの投資を専門とする企業がパラグアイの国債を購入し、仲介業者を通じて購入した債券を売ったが、投資家は常に債券発行国の経済だけでなく政治状況も精査しており、今日、パラグアイは見られていることを意識しなければならないと述べた。

2 飲食業に対する支援拡大

国立勸業銀行（BNF）および農業金融公庫（CAH）は飲食・イベント業に対する貸付金の支払い猶予を12か月延長し、完済期限を6年間まで拡大する。新型コロナウイルス感染症拡大防止のための新たな外出規制によって影響を受けたセクターに付与された信用貸しの大部分は、BNFによるもので、飲食店の代表者との会合後、BNFは、借り手が最初の支払い日を12か月延期することや当初3年で大方合意していた完済期限を6年まで延長することを交渉できると発表した。この特例は、貸付金の種類（12か月または36か月の貸付期間）によって適用される内容が異なり、また、特例を受ける条件として、完済時に利息を支払うことが義務付けられた。

3 経済担当副大臣の任命

大統領府管理部門長に就任したカルメン・マリン氏に代わり、イヴァン・ハース財務省経済局債務政策課長が新たに経済担当副大臣に任命された。ハース副大臣は、2007年にインターシップ制度により財務省でキャリアを開始し、翌2008年に債務関係のアナリストとして同省と契約、2011年、正式に入省した。2016年から経済局の債務政策課財政制度部門長、債務政策課長などの要職を歴任し、借款に関して国際機関に対する政府の代表も務めた。